

いっしょ

Vol. **110** 2017. 9 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



第19回一心福祉会納涼祭
一心療護園中庭にて

海浜クリーン作戦!

村商工会とタイアップして

梅雨も明け、夏本番を迎えた七月十一日(火)の午後四時から、大宜味村商工会の主催による、「海浜クリーン作戦」に一心福祉会も協力団体という形で参加しました。



作業後の集合写真

今年度の地域貢献活動計画において、美化作業を大宜味村商工会と一緒に活動できないか模索していた所、「海浜クリーン作戦」と称して海浜清掃を法人の拠点となつて津波区で計画していることを知り、早速相談したところ、快諾して頂きました。

今回の活動を通して、地域で活躍されている商工会の皆様と良い交流ができたと感じました。

主任・リーダー研修

七月二十一日、法人研修として、主任・リーダー研修が行われました。講師としてソーシャルワーク専門学校の諸見里氏をお招きしました。コムニケーション・チームワーク・目標達成のた



あつたいぐわいで安心・安全

やんばるの家

五月末から本格的に野菜の収穫が始まりました。特にゴーヤーや胡瓜が豊作です。収穫した野菜は写真にて掲示し、利用者・職員共に安心、安全な食材情報を共有しています。



ゴーヤーを収穫する千代さん



今晚のつまみはキュウリか

私も、あつたいぐわいで何もかも作っていたよ」と皆さんイキイキと話され、その笑顔を見ると、職員のモチベ

めの行動力についてグループ討議を交えながら進行していきました。その中で提案力と貢献力の高い人がリーダー向きであることや、チームワークとは目標を達成するため、チームメンバーで役割を分担して協働する事との説明がありました。二時間の講義でしたが、新しい見方や考え方の勉強になりました。この研修から学んだ事を仕事に



主任・リーダー研修報告

生かして行ける様にした
いと考えています。
一心療護園 山城 元



地域の子供達とゲームで楽しむ様子



料理の下ごしらえをする様子

金城たえ子

活動ありんくりん

グループホーム きじよか

地域密着型サービス事業所であるグループホームきじよかは、地域との関わりを持ちながら少人数での共同生活を送り、それぞれが出来ることは継続できるように支援する場です。

地域交流では、公民館ミニデイや、ぶながや食堂へ参加していますが、七月には、嘉保所からお誘いがあり、ぶながやまつりにも参加させていただき、子供達の元気な歌や踊り・笑顔に暑さも忘れ、手拍子をしながら声援を送り楽しい時間を過ごしました。

また、嘉如嘉区の清掃作業では、施設周りの草刈り清掃に職員も参加しました。

今後も地域との関わりを持ち利用者の皆さんが今、元気で居ることに感謝し、継続できるように頑張っていきたいと思えます。

社会科見学

就労センター えすの里

就労センターでは今年度の外出支援に社会科見学を取り入れており、現在まで沖縄宇宙通信所や具志川火力発電所などを見学しました。

わたし達が生活する上で欠かせない電気や電波等はどの様にして作られるのか、映像を見たり実際に見学しながら学ぶ事が出来ました。

地域の事を知る良い機会となっており利用者さんも興味を持って参加しています。



火力発電所で3D映像初体験

名桜大学生実習報告

やんばるの家

今回、やんばるの家に来るのは初めてでしたが、写真や絵など多く飾られており、とても温かい雰囲気のある施設だと感じました。また、毎日アクティビティが行われており、入所者もとても楽しそうに活動されています。明るい施設であると感じました。利用者との



沖縄宇宙通信所にて説明を受ける



名桜大生によるアクティビティ

関りも楽しく、日常生活援助も多く経験させて頂きました。今回の実習で、看護師として必要な技術を多く学ぶことができました。今回学んだ事を看護師になっても生かしていきます。

名桜大看護学科

大城 莉瑛



真夏の夜の一大イベント

一心福祉会納涼祭



皆で踊ろう！



U' i ohana (ウイオハナ) のフラダンス



城間竜太さんの歌・三線

八月二十五日(金)第十九
回目となる一心福祉会の納涼
祭が一心療護園中庭で行われ
ました。各事業所の利用者様
やご家族の他、多くの地域の
方々に足を運んで頂き大盛況
のうちに終了しました。
今年も多くの方々のご来場
を心より感謝申し上げます。



やんばるの家利用者・ご家族の皆様



フォークバンド春風



一心療護園利用者・ご家族の皆様

津波区清掃へ参加

地域の「一員として」

グループホーム えすの里

グループホームえすの里では、津波区で毎年行われている「海浜掃除」に参加しました。

インフルエンザの影響もあり参加人数は利用者さん職員合わせて五人でしたが、津波区長をはじめ地域の方にも歓迎して頂き、とても良い雰囲気ので海浜掃除に参加する事が出来ました。



いい汗をかいた この笑顔



これもお願いします



二時間程度の清掃作業ではありましたが、地域の皆さんとの交流が深まり地域の「一員として」参加する事が出来、利用者さんからも「また、機会があれば参加します」と頼もしい声がありました。

園外活動

一心療護園

一心療護園では、今年度から四つのグループをユニットとして分け、園外活動を実施しました。

それぞれのユニットで利用者の意向や体調に応じて、買い物やドライブ等を実施し、個別支援では、うるま市にある神山酒造所への工場見学の後古酒泡盛の試飲に参加しました。

参加した利用者からは北の方の酒造所から回って見たいとの感想がきかれました。



これうまそうだねえ！（酒造所にて）



東小児童交流会

デイサービス

八月二十二日に東村の小学生七名と父兄の六名がデイサービスに来所されました。

テナーサクソスの演奏から始まり、絵本の読み聞かせ、以前利用されていた金城文子（川田在）さんの娘で東江光枝さんのユニークなウンタク（お話）は笑い声も聞かれました。

小学生の可愛らしい声と表現力には利用者の皆さん、頬笑みながら聞き入っていました。最後はカチャーシーで盛り上がり楽しいひと時を過ごされました。来所くださった皆様本当にありがとうございました。



サクソスのソロ演奏



みんなで一生懸命取り組みました



東江光枝さんのトークタイム

犬イノシシの利用者
友寄 景八さん（九五歳）

獲ってきたイノシシの顎の骨と尻尾は役場に持て行けば補助が有りまし
た。当時のお金で四ドル
で結構な金額でした。イ
ノシシの肉は今のよう
に技術が無いので臭いがき

猟犬とイノシシ狩り（後半）



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」（ライフヒストリー）と題してご紹介する企画です。

つく、高くは売れ無かつたですが、切り分けて、ま集落の人が買ってくれました。

イノシシを生涯で五百頭は掴まえました。一日多し時九頭取った事が有ります。子供産む時期は年に二回あります。イノシシの時期、しいの実の時期はミミズを取って食べます。芋があまり大きくない時は食べません。時期を知っています。

犬も人も疲れるので三日に一回程しか狩りは出来ません。サーウイの家から近いところでしたら毎日行けますが、遠くは今の大保ダム近くまで行く事も有りませんでした。朝、食事もしないで昼の三時ごろまで歩き回るともありません。

イノシシは道を作りまします。待ち伏せて、仕留めたとしたら犬を突いてしまつたことが有ります。吠えない犬で、色もイノシシに似ていました。その犬は抱っこして連れて帰って床下に寝かせてから、肺を突かれていたの息をするたびに土ほこりが舞い上がっていました。死ななせんでした。元気になつてまた頑張りました。犬を譲ってくれという

人がいて、半分譲りました。仕込んだ犬を分けるその後が続かなくなりました。グルーブ力も弱まりました。犬はイノシシを仕留めると活気づきます。我々のグルーブはすごいんだと言う感じです。失敗したときは力を落とす。落ち込みます。犬の力はすごいです。数多く養つたので性質が分かるようになります。ぬしうむや（主想い）、鼻が特別利く犬、挟み撃ちが出来る賢い犬など色々いました。

犬がいないと仕事できなかつたです。犬は吠つたりしません。褒めて子供みたいに育ててあげないとだめです。家族のようにならなければいけません。それがらいいしなないと飯が食えなかつた時代です。難儀では有るが楽しかつたです。

（本人及び息子 友寄景勇さんより聞き書き）



昭和40年代 サーウイの自宅にて

地域伝統行事への参加

小規模 いっしん

毎年、旧暦は六月になると塩屋校区では「アクウイミー」と呼ばれる神行事がありその語源ははっきりしないとのことですが、行事の内容から「開き折目」ではないかと言われているそうです。神人全員が神衣装（バサ衣装と白マンサジ）を着けて各々重箱にご馳走（今はお菓子で簡素になっています）を持参して田港アサギ、屋古アサギで豊饒感謝の祈願をするのだそうです。

今年も八月三日に行事が行われたのですが小規模いっしんを利用する田港出身のトヨさん、神人で地域ではトヨさんを知らない人はいないと言わ
るほど有名な方で当日は、小規模いっしんから直接田港のアサギへ向
き、そこで待っている神
人の人達と神衣装に身を
まとい祈願を終え、次は
屋古のアサギへと移動し
祈願を行うのですが小規

模いっしんもリフト車でトヨさんのお供をし移動のお手伝いをさせて貰ったのですが、炎天下の中、祈願も無事終え、車の中で「ウガミも無事終えてホットしたさー。アクウイミーが終わると塩屋の踊りや相撲が始まるんだよー」と話されていまして。トヨさんお疲れ様でした。



田港アサギで祈願するトヨさん



交流後の記念写真

開所から四カ月が過ぎ、初の試みとして子供達と昔あそびを通しての交流を計画し、「アダンの風車」「蘇鉄の虫籠」作りを利用者の手解きにより実施しました。子供達とふれあう顔が終始にこやかで年齢を感じさせない目の輝きが有りました。昼食にカレーライスを一

グループホーム きじよか

夏休み交流会をとおして



おばあちゃんこれでいいかなあ～



平良 佳代子

ごしました。今、この時を生きる皆様に教えられながら日々手伝いが出来ることを幸せに感じるひとときでした。

パーベキューで親睦会

小規模 あがり

今回、あがりでは、七月の下旬に交流会をかねてパーベキューを行いました。男性利用者の方は、久しぶりのビールを飲んでとても喜んでいました。職員の家族も参加され、とても賑やかな交流会でした。

宮城 智子



あり乾杯！



パーベキューの後にみんなで記念撮影

弁当班の新たな取り組み

就労センター えすの里



今回七月後半から新しい取組みとして健康弁当を始めました。主食は玄米を使用し減塩にも心がけ、自家栽培している野菜で塩分控えめの副菜を作る等、健康を意識したお弁当です。
最初は少ない注文でしたが、現在十五個以上の注文があり職員の健康意識が感じられます。同時にカローリ表示やアンケート調査等にも取組み地域や職員の皆様に美味しい弁当を提供出来る様に頑張ります。
また、八月には昼食の配食サービスも試験的に開始しており新たな試みとして取組んでいます。

弁当班：宮城 咲希



大人気の健康弁当



川の水冷たくて最高！



ソーメン流し うまくすくえるかな？



狙いを定めてエイッ！

◆◆◆◆◆ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◆◆◆◆◆

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホームやんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	26名
デイサービスセンターやんばる (☎0980-44-2033)	33名 (1日)	2～3名	0名
小規模多機能ホームいっしん (☎0980-44-2662)	25名	2名	0名
小規模多機能ホームあがり (☎0980-43-2344)	25名	3名	0名
認知症対応型グループホームきじよか (☎0980-44-3015)	9名	0名	3名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

平成29年8月31日現在

介護に関する
困った を共に考えます！
 サービスや手続きの相談等受け付けます。
介護支援センター やんばる

電話 0980-44-2398
 担当：座喜味・安里・當眞
 お気軽に
 お電話下さい！